

いんしーむを左
ど、気遣いの人。
(政務秘)

孤独死防止 考える

新宿区・戸山団地

高齢化が進み「都会の限界集落」とも呼ばれる新宿区の都営戸山団地で二十七日、「今、孤独死問題を考える」をテーマに語り合う会が開かれた。団地の住民や福祉にかかわる人ら約五十人が参加、孤独死を防ぐため何ができるか考えた。(松村裕子)

NPO法人がシンポジウム 取り組みなど紹介

命をキーワードに語る会を開いている「いのちのフォーラム」と、地元で孤独死防止に取り組むNPO法人「人と人をつなぐ会」が開いた。

NPO法人の本庄有由理事長や、同法人理事で精神保健福祉士でもある女優の高部知子さんら四人がパネリストを務めた。本庄理事



孤独死について話すパネリスト＝新宿区で

長は、今春から普及を始めた携帯電話による見守りサービスについて説明。高部さんは「行政の窓口が知られていない」などと問題提起した。

団地で見守り活動をしている中下大樹・いのちのフォーラム代表はさらに「相談窓口につなげるのが難しい。紹介しても行かない人がいる」とも指摘。「人としてできることから始めよう」と協力を呼び掛けた。

5市が市制40年スタンプラリー
多摩地域、来月から多摩地域で、本年度に市制施行40周年を迎える福生、狛江、清瀬、東久留米、武蔵村山の5市が連携し、各市で開催のイベントを回るスタンプラリー「ふれあいイベントラリー」を、今年夏から